消費税反対大駅頭宣伝

9月26日(月)

清瀬駅南口：　17:30～

東久留米駅西口：18:00～

けんせつ
清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
TEL 042-473-8751
FAX 042-473-8753
http://www.tokyodoken.info/
発行者　鈴木勝雄
編集者　角　毅征

土建国保を守る拡大月間!!

全世代・全丁場の仲間の力を結集

東日本大震災の復興や原発事故の収束は遅々として進まず見通しが立たない中、復興の名のもとに消費税増税や社会保障の削減、地域産業切り捨てのTTP参加など、依然として政府は国民世論を無視した乱暴な「構造改革」路線を強行しようとしています。

しかし、脱原発や地域に根差した社会を模索する動きは、大震災を機に確実に広がり強まってきています。

秋の拡大月間は、こうした日本の未来を大きく左右する「せめぎあい」の中で取り組まれます。東京土建にとって、この情勢の中で拡大を成功させるかどうかは、全国最大の建設労働組合としての正念場の取り組みです。

今年の初めまでに、建設不況・国保組合攻撃のもとで大きな後退を余儀なくされましたが、春の月間で目標を達成させ公契約条例やリフォーム助成を勝ち取る自治体交渉、PAL大集会の成功など反転攻勢の足がかりを築きました。

この新たに切り開いた到達をあらためて確信とし、秋の拡大に立ち向かいましょう。

各分会秋の拡大月間目標数は左記の表の通りです。

支部目標達成目指してガンバロー!!

	1月現勢	月間目標	年間残数
元塩	137	7	2
松竹	67	4	-2
清里	150	8	4
滝山	164	9	4
三葉	237	12	2
北浅	148	8	8
南町	66	4	1
青空	137	7	4
事業所	396	20	2
直属	282	11	9

拡大中間決起分会BBQ

10月2日(日)

※各分会詳細については各分会まで

拡大月間行動日程表

9月　：21日 22日 28日 29日
10月：6日 7日 16日 20日 21日
　　27日 28日

葡萄狩りで家族・仲間と交流
後継者世代結集

天候の心配がされる中、9月4日(日)後継者、子育て世代の仲間たちでブドウ狩りバスツアーに行きました。

台風の影響で中央道が通行止めのため遠回りを強いられ、大幅に到着が遅れました。事前にコースに含まれていた、大日影トンネルやワイングラスショップには行くことが出来ませんでした。

13時過ぎに里の駅にて、B級グルメで金賞に選ばれた鳥もつを含む、ほうとうなどのご当地グルメを食べました。昼食後「桔梗屋」にて工場見学を行いました。参加した子どもたちはもちろん大人も、見慣れない工場内をとても楽しく見学しました。

葡萄園(紅玉園)に到着してから集合写真を撮り、メインイベントのブドウ狩り。普段は仕事で忙しく、子供との触れ合いが難しい子育て世代ですが、「こっちが甘そうだよ」「こっちのほうが甘そうだ」とブドウ狩りを通して、とても良い家族交流がされていました。

帰り道の車内ではビンゴゲームや会話で盛り上がり、「是非また参加したい」「次は何を企画しようか」と同じ世代で交流を深めていました。

台風や地域のお祭りなどの影響を受けての大渋滞で、大幅にイベント内容や帰宅時間が変更になりましたが、事故もなく無事に帰ることが出来たことが何よりもよかったと思います。

子育て、後継者世代の交流の場として、今後も様々な企画をしていきたいと考えています。

核兵器による長きに亘る被害報告

2011 原水爆禁止世界大会・長崎

8月7日、長崎で開催される原水爆禁止世界大会に参加するため、早朝から、電車、バス、飛行機を乗り継ぎ、一路大会会場である長崎市民会館へ向かいました。

開会総会では、全国各地さらに海外から合わせておよそ7500人が参加し、その内東京代表は700人、第一第二会場共にぎっしりと埋まっていました。

長崎市長のあいさつでは、市民、国民の力が国や世界を動かすとの発言がありました。主催者からの報告、被爆者、各国の政府代表、海外代表のあいさつがありました。

2日目は、第八分科会「放射能の汚染被害地住民はどう闘ったか」に参加。全体で200人近くが会場に入りパネルディスカッションしました。福島第一原発の被害者、ロシアのプルトニウム製造工場被害者、アメリカによる核実験の被害者らが被害の実情や結果報告を行ないました。

福島第一原発から20キロ圏内で農業を営んでいた南相馬市亀田氏は、農作物から放射性物質が検出され深刻な事態になっている。長い闘いになる、安心して作物が出来る土地になるまで福島で頑張っていきたいと発言されていた。

ロシアのミーリヤ氏は、プルトニウム工場の爆発で住民48万人が被曝し、46万人が避難した。まず被害者が国に求めるべきは、正確な情報の公開と安全の確保だと訴えていました。

マーシャル諸島のアバッカ氏は、米国が1946年から58年までに行なった67回の核実験によって、多くの住民が健康被害を受けたと話し、被害者が権利と正義を勝ち取ることも必要だと主張していました。

米国のトミー氏は福島第一原発の事故では、今後も被害が増え続けると発言していました。

各人の話を聞いて、どの国の政府も大事な情報を隠してしまい、被害者がモルモットになってしまっていると私は思いました。

3日目は記念式典閉会式に参加、道中で雨が降り式典が始まると雨が上がった。この雨は被曝者の「なみだ」だと思いました。

大会に参加して思ったことは、放射能をまき散らすものは作らない、いらない、世の中が平和であって欲しいということです。

滝山分会　川尻　力

新・分会センター設立で 拡大月間達成目指す

八月二十八日、午後五時から新青空分会センターに、支部から四役、他分会から十一人、青空から組合員、主婦の参加で総勢四十六人が集まり、北園さんの乾杯の音頭で賑やかに始まりました。

参加された方々は、「秋の拡大に向けて、良い時期に最高の活動場所が出来た。年間目標達成に向けて分会みんなで力を合わせてやり切りましょう」と意気盛んでした。また、「分会の人達が気軽に利用した。

分会独自のセンターを持ったことで、今後どのように維持していくかが問われますが、これから直面するであろう問題を、分会全体のものとして考えていく必要性を感じ、仲間とともに乗り越えていこうと思います。

出来るような雰囲気の場所にして欲しい」「若い人が集まるような分会づくりを望む」などの声を頂きました。

青空分会　広野順子

国内産業を守れ!!

TPP（環太平洋経済提携協定）は例外なしの貿易自由化だけでなく、国の在り方を変えるほど規制緩和を徹底する。

この協定を黙って見過ごすわけにはいかない。

「食・暮らし・地域経済・いのちを守りたい」と全国から日比谷公会堂に8月27日（土）1、300人が結集し緊急集会が行われました。

集会後はトラクター、軽トラを先頭に東京電力前を通り人ごみで溢れる銀座を駅手前の鍛冶橋までデモ行進しました。

シュプレヒコールしながら、東京

滝山分会　山岸　妙子

夏の思い出に川遊び

清里分会、毎年恒例の暑気払い川遊びが、7月31日（日）10時から金山公園の橋の下で開催されました。

参加者は大人28人、子ども4人と事務局から木田、角の2名が参加し総勢37人でした。

小雨の中、大人達はBBQやお酒で体を温めていましたが、子ども達はズボンのまま、川の中へ。

前日からの雨のわりに水かさはそれ程増えてはなく、流れがちょっと速いかなという感じでした。

流石に寒かったようでブルブル震える子や、元気にアユを捕まえた子、変な幼虫を取ってきた子など、子ども達も楽しんでいました。

母親達は、子どものズボンや上着の着替えでゆっくり飲めない場面もありましたが、用意した食材も、みんなで美味しくいただきました。

頃合いもよく、2時頃に分会のみんなで記念写真を撮り、片付けをして解散しました。

参加者の皆さん、朝早くから準備された分会役員の皆さんご苦労様でした。拡大もガンバロー！

清里分会　鈴木勝雄

知っ得クイズ

次の名字は全国世帯数1位から9位までですが、その順位を考えよう。

小林（　位）
山本（　位）
佐藤（　位）
伊藤（　位）
渡辺（5位
［268、896］）
田中（　位）
中村（　位）
鈴木（　位）
高橋（　位）

前号の答え

①2時＝八つ
②10時＝四つ
③4時＝七つ
④1時間＝半刻
⑤8時＝五つ
⑥30分＝四半刻

なお、
3時＝八つ半
9時＝五つ半
となります。

出題者　寺園静雄